

## 堅信式 (信徒按手式)

洗礼を受けて道理をわきまえることのできる年になつた人に手をおく式である。この式を受ける者は、あらかじめ公会問答を学ばなければならない。

司祭は堅信式を受けようとする者の教名、氏名、生年月日、受洗年月日、場所、司式者名をしるして主教に提出する。

堅信式を受ける者は、おのおの教父母一人または他の適当な立会人一人とともに、主教の前に立つ。会衆は座につき、主教の次のように言う。

### 序言

愛する兄弟よ、公会はキリストの使徒たちの模範にならいて堅信式を行のうなり。すなわち使徒行伝第八章にかくしるされたり

ここに散らされたる者ども、経めぐりて、御言葉を宣べしが、ピリポはサマリヤの町にくだりて、キリストのことを伝う。ピリポが神の国とイエスキリストの御名とにつきて宣べ伝うるを人々信じたれば、男女ともにバプテスマを受く。エルサレムにおける使徒たちは、サマリヤびと神の御言葉を受けたりと聞きて、ペテロとヨハネとをつかわしたれば、彼らくだりて人々の聖霊を受けんことを祈れり。これ主イエスの名によりてバプテスマを受けしのみにて、聖霊いまだそのひとりだに下らざりしなり。ここにふたりの者かれらの上に手をおきたれば、みな聖霊を受けたり聖書はかく按手と祈祷によりて、聖霊の特別な賜物の与えるることを教う。かかる賜物は、ただ神によりてのみあたらるるなければ、すでに、洗礼によりて神のことせられし者、いま按手によりて聖霊にて強められんことを全能の神に祈るべし

### 再宣誓

聖洗式につづいて堅信式を行なうときはこれを省く。

主教は次のように言う。

わが子よ、この按手を受けんと願う者は、洗礼のおごそかなる誓いに基づきて、悪魔とそのわざを捨て、キリスト教の信仰箇条を信じ、生涯、神の御心に従い、その戒めを守る約束を堅めざるべからず。されば我なんじらに問わん。なんじ今、神とこの会衆の前にてこの約束を堅むるか

堅信式を受ける者はおのおの答える。

われこの約束を堅む

## 堅信 (按手)

一同立つ。

主教 我らの助けは手の御名にあり

会衆 手は天地を造りたまえり

主教 主の御名はほむべくかな

会衆 とこしえに至るまでほめたとうべし

主教 主なんじらとともにいますことを

会衆 主なんじの霊とともにいますことを

主教 我ら祈るべし

とこしえにいます全能の神よ、主はさきに水と聖霊とをもつて、このしもべらを新たに生まれしめ、そのすべての罪をゆるしたまえり。願わくは聖霊をもつて彼らを強め、もろもろの賜物を与えたまえ。彼らに知恵と悟りの霊、深慮と力の霊、主を知る知識と主を啓う霊を授け、また主をかしこむ霊を常にみたしたまえ。アーメン

次に教父母または立会人は堅信式を受ける者を導いて主教の前にひざまずかせる。

——(教名) 父と子と聖霊の御名によりて、我なんじに手をおく アーメン

主よ、天の恵みをもつてこのしもべを守りたまえ。常に主に属し、日々ますます聖霊に満たされ、ついに御国に至ることを得させたまえ アーメン

主教 主なんじらとともにいますことを

会衆 主なんじの霊とともにいますことを

主教 我ら祈るべし

会衆はひざまずき、一同主の祈りを唱える。

天にします我らの父よ、願わくは御名を聖となさしめたまえ。御国をきたらしめたまえ。御心を天におけるごとく、地にも行わしめたまえ。我らの日用の糧を今日も与えたまえ。我らに罪を犯すものを我ら赦すごとく、我らの罪をも赦したまえ。我らを試みにあわせず、悪より救いいだしたまえ。国も力も栄えも世よに父のものなればなり  
アーメン

次に主教は言う。

御心にかのう良き志を立て、これを行なわせたもう全能の神よ、我いま使徒たちの模範に従い、このしもべらに手をおきて主の慈愛を示せり。願わくは父よ、御手をもつて彼らをおおい、聖霊をもつて常に彼らを導き、ますます御言葉を悟り、これに従い、ついに限りなき命に至ることを得させたまえ。父と聖霊とともに一体の神にましまして世よ統べ治めたもう主イエスキリストによりてこいねがい奉る。アーメン

## 祝福

主教は次の語を用いて新たに堅信式を受けた者を祝福する。

願わくは父と子と聖霊なる全能の神の恵み、なんじらの上に臨み、常になんじらとともにあらんことを。アーメン

堅信式を受けた者、またはその準備を終わえて主教から特別の認可を受けた者でなければ、聖餐にあずかることはできない。